



よい良い授業を目指して！

島尻教育事務所教科総合訪問

西崎中学校

校長 宮城 義隆



十月十六日(木)、島尻教育事務所の指導主事等六名をお招きし、教科総合訪問を行いました。今回の訪問で鎌田美乃里(一)の三道徳が公開授業を実施しました。これら三つの授業で、本校の校内研修のテーマ「主体的・対話的で『学びの実感』が生まれる授業づくり」に迫る授業を展開してまいりました。生徒の皆さんは「授業はいつも通り」に、授業に向かう姿勢が整っており、自分の意見等を表現したり、他者の考えを受け入れたりすること、学びを深めていたり、授業後には指導主事からたくさんのお褒めの言葉を頂きました。授業後には自分の意見や素直に表現し、先生と対話する機会を設けました。先生方も、授業の準備や進行に集中し、生徒の学びを促す工夫が随所に見られました。先生方も、授業の準備や進行に集中し、生徒の学びを促す工夫が随所に見られました。

危険性の正しい理解を！

薬物乱用防止教室

十月九日(木)、沖縄地区税関の福田辰紀氏、新里遥香氏を講師に、薬物乱用防止教室を実施しました。この教室では薬物の危険性や税関の役割等について深く学ぶことができた。また、麻薬探知犬の実演もあり、生徒は驚きの声を上げていました。保健委員の眞喜志菜乃花さんは「薬物は体や心を壊すだけではない。家族や友人との関係も失ってしまう。また、薬物に頼らずにストレスの上手な解消することの大切さを学びました」と感想を述べた。



西中生同士が頂上決戦！

県サッカーC選手権決勝

十月十二日(日)、県サッカーC選手権大会の決勝で、西中生の花田興之介さん、金城空汰さんが所属するグラフオルティスと大城式礼さんが所属するヴィクサールが対戦し、興之介さんが得点を決め、グラフオルティスが優勝を決めました。西中生も熱く対戦しました。



校長の独り言②

校長からいただいた「宝物」

私が30代前半、生徒指導主任を初めて担当した時の話。その当時、私の勤務校は生徒指導上の様々な問題行動が多発しており、落ち着かない状況が続いていた。そんな中、校内で大きな問題行動が発生した。ここでは詳細は避けるが、学校の秩序が保てなくなるほどの大事だった。私は生徒指導主任としてその問題を引き起こした生徒をかなり厳しく指導した。一件落着いたと思ったその日の夕方、その生徒の母親がものすごい剣幕で職員室に怒鳴り込んできた。私の指導に対する抗議である。校長室で私とその母親、そして校長の3名で話し合いを持った。母親が「先生のあの指導は間違っている！」との感情的な言葉に「あなたのお子さんはこんな大変なことをしてしまっただけですよ！今、厳しく指導しないでどうするんですか！」と私も感情的に言い返した。しばらくの間、言い争いが続いたあと、校長が「義隆先生、君は外に出なさい。」と強い口調で言われ、私は渋々校長室を後にした。しばらくするとその母親が目頭をハンカチで覆い、涙を抑えながら校長に頭を下げ、校長室から出ていくではないか。いったい何が起こったのか。その時の私にはわからなかった。

その日の夜、私は校長に連れられて、とある寿司屋に行った。カウンターに二人で並び、今まで食べたことがない高級寿司をたらふく、食べさせてもらった。ひと段落して校長が話し始めた。「義隆よ、君は今日の問題行動にしっかりと向き合ってくれた。とても難しい指導だったと思う。本当にありがたう。だが、これだけは言うておく。こんなときに一番苦しい思いをしているのは誰だと思うか？それは…母親だ」

この言葉は今でも私の大切な宝物だ…

すべての生徒・職員が安心・充実・挑戦している学校をめざして